

＜＜バレンタインに関するアンケート調査を実施＞＞

**バレンタインはチョコと一緒に手紙を渡す!? 婚活男性はモノより気持ち!
～“自分チョコ”も浸透、30代女性の6割が自分へのご褒美に購入～**

ミクシィグループの株式会社Diverse(東京都渋谷区、代表取締役社長:津元 啓史、以下Diverse社)は、運営する日本最大級の結婚支援サービス「youbride」会員にアンケート調査を実施。バレンタインに関する意識調査を行いました。調査の結果、イベントとして長く日本に定着しているバレンタインについて様々な意見が寄せられました。

【調査概要】

調査時期:2015年12月26日(土)～2016年1月5日(火)

調査対象:男性219名、女性139名 合計358名(youbride会員20代～50代の未婚男女)

調査地域:全国

調査方法:インターネット調査

【アンケート調査結果概要】

■意中の男性には手作りチョコと一緒に手紙を渡すべし! (P2)

男性へ「チョコレートに加えてプレゼントがもらえる場合、何が嬉しいか」を調査。結果、「財布」(23.7%)や「ネクタイ」(22.8%)などの実用品を抑え、1位に「手紙」(27.9%)がランクイン。また、チョコレートは“市販”より“手作り”を求める傾向にあり、婚活中の男性には“気持ちが伝わるもの”が良いという結果に。

■バレンタインは年1回の自分へのご褒美!? (P3)

「バレンタインにチョコレートを渡したい相手」女性全年代の1位は「意中の男性」(41.7%)だったものの、婚活に積極的で回答者数も多かった30代を見ると、1位は「自分自身」(61.8%)に。「意中の男性」(2位、40.0%)よりも割合は多く、実に6割以上の女性のご褒美として“自分チョコ”をすることが明らかに。

■婚活男女の“嬉しい”“切ない”バレンタインエピソード集(P4)

バレンタインは長く日本に定着してきたイベントのため、学生時代の思い出や、社会人になってからの体験など、人生の様々なタイミングでのエピソードが多数寄せられました。

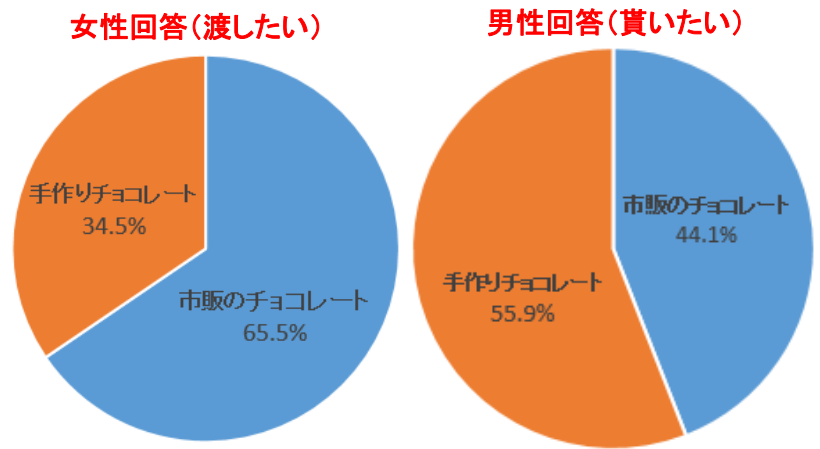
1、男性はモノより気持ち！女性からチョコと一緒に貰いたいもの1位は「手紙」 ～チョコは市販より気持ちが伝わる“手作り”が人気～

男性に女性からチョコと一緒に貰いたいもの(表1)を調査。結果、「財布」(23.7%)や「ネクタイ」(22.8%)を押さえ、「手紙」(27.9%)が1位に。また、“市販”“手作り”どちらのチョコ渡したい(貰いたい)か男女に調査。女性は「市販のチョコレート」を渡したいという意見が多いのに対し、男性は「手作りチョコレート」を求める結果に。婚活男性は“気持ちが伝わるもの”を求める傾向があることが分かった。バレンタインをきっかけに男性との距離を縮めたい女性のみなさんは、手作りチョコと短くてもいいので今の気持ちを手紙にして渡してみてもいい？

【表1】 チョコレートと一緒に貰いたいもの
(複数回答可)

順位	回答	%
1	手紙	27.9%
2	財布	23.7%
3	ネクタイ	22.8%
4	時計	20.1%
5	マフラー	19.6%
6	ハンカチ	17.8%
7	手袋	17.4%
8	アクセサリー	11.9%
9	香水	10.5%
10	ボールペン・万年筆	9.6%

【表2】 “市販”“手作り”どちらのチョコレートを渡したい(貰いたい)か？



《チョコと一緒に貰いたいもの 回答理由》

- 【手紙】「他のものは自力で買えるけど、相手からの手紙だけは相手にしかできないから」(40代)
 「手紙をもらう機会は少なく意外とうれしい」(30代)
 「言葉があると感動する」(30代)
 「手紙だけで充分嬉しいから」(30代)

※自分だけの特別感を感じられるものが喜ばれるようです！ぜひ一言添えてお渡ししよう！

《“市販”“手作り”どちらのチョコレートを渡したい(貰いたい)か？ 回答理由》

女性回答

- 【市販のチョコレート】「時間的にも見た目も味も高級なチョコのいいかなと思って」(20代)
 「美味しいチョコレートを一緒に食べたい」(40代)
 「手作りだと重い女って思われそうだから」(30代)

※男性は“気持ち”が伝わる手作りを楽しみにしている人が多いですよ！チャレンジしてみてください！

- 【手作りチョコレート】「気持ちが伝わる気がするから」(20代)
 「相手の喜ぶ顔を楽しみにしながら作りたいし、腕前のアピールさりげなく出来る」(20代)

男性回答

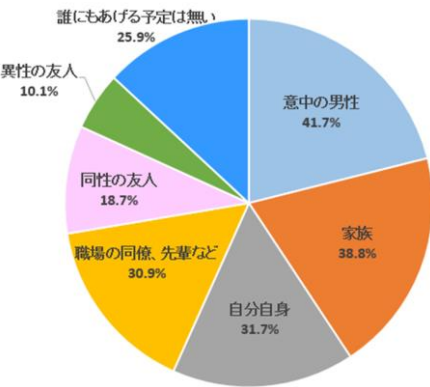
- 【市販のチョコレート】「いただけるのであればうれしいです」(40代)
 「どちらでもよい。相手がくれることが嬉しいので」(20代)
 【手作りチョコレート】「手間が掛かる分、相手の気持ちが伝わるから」(30代)
 「自分の為に時間を使ってくれた事が嬉しい」(20代)
 「気持ちが嬉しい」(20代)

※やはり「チョコ」という“モノ”に加え、作ってくれたその“気持ち”が婚活男性の心に響くようです。

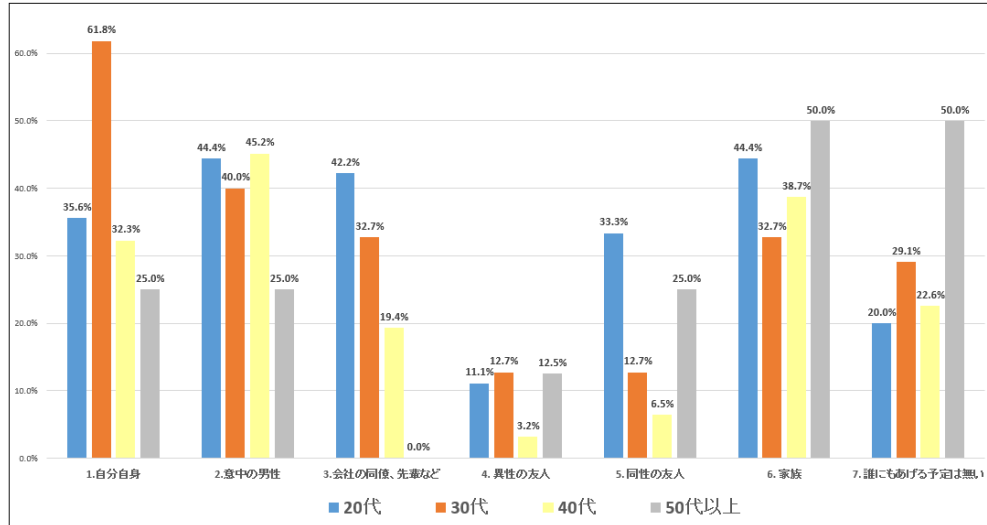
2、チョコレートは年1回の自分へのご褒美？“自分チョコ”が浸透傾向 ～4人に1人は義理も含めて誰にも渡さないという結果に～

女性を対象に「バレンタインにチョコレートを渡したい相手」を調査。女性全年代(表3)の1位は「意中の男性」(41.7%)で、以下僅差で「家族」(2位、38.8%)、「自分自身」(3位、31.7%)、「職場の同僚、先輩など」(4位、30.9%)という結果に。
年代別(表4)で見ると、婚活に積極的で回答者数も多かった30代の1位が「自分自身」(61.8%)に買うとの結果だった。実に6割以上の方が自分へのご褒美としてチョコレートを買うことがわかった。
また、今回の調査で義理チョコ等も含めて「誰にもあげる予定は無い」(25.9%)人も多いことが分かった。

【表3】 バレンタインにチョコレートを渡したい相手(複数回答可)



【表4】 年代別回答(複数回答可)



《バレンタインにチョコレートを渡したい相手 回答理由》

【意中の男性】「関係を深めるきっかけにしたいから」(30代)、「二人の仲を発展させたいから」(40代)
「女性からアタックできるチャンスのイベントだから」(20代)

※バレンタインをきっかけに関係を進展させたいという婚活女子の願望が明らかに

【家族】「いつもお世話になっているお礼として」(20代)
「家族が毎年チョコを楽しみにしているため」(20代)

【自分自身】「自分へのご褒美に」(20代)、「この日はちょっといいチョコを買っても許される感じがするので」(30代)
「一年に一度の豪華チョコと決めている」(30代)、「自分にご褒美、という名の甘え(笑)」(20代)

※ご褒美としての“自分チョコ”がイマドキのバレンタインの定番に

【職場の同僚、先輩など】「恒例行事で欠かせないから」(30代)、「円滑な人間関係のため」(40代)
「機嫌取り」(20代)

※バレンタインに義務感を感じている女性の回答がちらほら…

【誰にもあげる予定は無い】
「今のところ渡したい人がいないので」(30代)、「無駄なお金を使いたくない」(30代)、
「1人にあげると、結果大勢にあげる事になるので、誰にもあげない」(40代)

※コスパの悪さを考慮するところもイマドキのバレンタイン事情かもしれません

3、婚活男女の“嬉しい”“切ない”バレンタインエピソード発表！！

イベントとして日本に定着して長いバレンタイン。学生時代から職場での経験まで、これまでにあった“嬉しい”“切ない”エピソードが多数寄せられました。その中からいくつかをご紹介します！

《女性》

【嬉しかったエピソード】

「お菓子作りほとんどしたことなかったのに、元カレに初めてフォンダンショコラ作ったら感動したって喜んでくれました。それからお菓子作りが好きになりました」(30代)

「手紙と手作りチョコで告白。相手が職人さんだったので、工具の形のチョコをあげたら写真までとって大喜び」(30代)

※男性は“自分のためだけに”してくれたことはとても嬉しいもの。今年もいい人がいればぜひ渡してみてもいいかも！

【失敗談】

「手作りのトリュフが固いことに気づかずにプレゼントしてしまい、翌日「チョコのアメ美味しかったよ」とフォローされたこと」(20代)

「手作りが食べたいと言われ、作ったものをタッパーごとあげたら「ありえない」と大笑いされた。ラッピングまで考える余裕はありませんでした」(20代)

※渡す前に一度確認が必要ですね！でも思いは相手に伝わっているはず！

【切ないエピソード】

「仕事が忙しく、事前に準備出来なくて、当日仕事帰りに材料を揃えたのですが、ラッピングだけがそろわず、お皿にデコレーションして渡したら、普通はラッピングするだの、手紙すら無いだの、文句を言われた」(30代)

※仕事が忙しい中作ってそのリアクションとは…男性は受け取ったらまず感謝を伝えましょう！

「バレンタインチョコをあげたら、当時の彼がショッピングモールのフードコートで開けて食べ始めた。写メも撮ろうとしたので止めてくれと言った。周りには女子高生とかもいっぱいいてとても恥ずかしかった」(20代)

※世の男性諸君、決して真似しないように！

《男性》

【嬉しかったエピソード】

「昔付き合ってた彼女からチョコと一緒に下着も貰い、よくデートの時履いてました。サイズもピッタリだったので、二度ビックリ(笑)」(40代)

「中学の頃たくさん貰いすぎて帰り道恥ずかしかった」(40代)

【切ないエピソード】

「自分へのご褒美にゴディバのチョコを買っていたら、友達に見られてそれから当分あだ名がゴディバだった」(30代)

「バレンタインに何ももらえなかったのに、ホワイトデーのプレゼントを要求された時は悲しくなりました」(30代)

【嘆き】

「こんな習慣なくなればいいと思います」(40代)、「そんな彩りのある人生を送っていない」(40代)、

「2月14日に傷つけられてきた四半世紀を超える経験」(20代)

※四半世紀という言葉に重みが…これまでに何があったか怖くて聞けませんが、これから良い思い出を作りましょう！

※広報担当者コメント